

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	企画総務部秘書課	評価者 (課長)	山本 敏明	評価責任者 (部長)	近光 慎二
事務事業コード	012007	事務事業名	秘書事務管理費	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	VIII 計画推進のための方策(第4章)	節(まちの姿)	VIII1 -	実施計画	×
	基本施策	VIII12 効率的な行政経営(第4章)	基本方向	民間活力の導入や限られた行政資源を有効に活用し、簡素で効率的な行政経営に努めるとともに、意欲、能力、適性を生かした職員の育成と行政需要に適時・適切に対応した機動的な組織づくりを進めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	行政改革の推進			【 】 %	
	推進施策の展開	市が提供する各種サービスの質を高めることにより、市役所業務に対する満足度の向上を図ります。			25年度市民評価の満足度	
	【 】 %					
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 市長、副市長	意図(どういう状態にしたい): 市政運営の効率化、円滑化を図り、もって行政サービスの充実を図ることで、間接的に市民福祉の向上に寄与する。	事業の内容 (手段)	市長、副市長に関する秘書業務		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	秘書業務において、実績値が目標値を上回っているが、事業費は減少させることができた。						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	直接事業費	千円	8,161	8,113	8,263	8,086		8,091						
事業目標	目標名	市長・副市長の公務件数	計算式	達成項目/目標項目	単位	%	(予算額)	うち一財	千円	8,161	8,113	8,263	8,086	8,091
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	7,808	6,216		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	目標値	1,500.0	1,500.0	2,000.0	2,000.0	2,000.0	(決算額)	うち一財	千円	7,808	6,216		増減要因なし	
	実績値	2,058.0	2,224.0	2,323.0			正職員人件費	千円	29,300	36,975				
	達成度(%)	137.2%	148.3%	116.2%			人工数	人	4.00	5.00	5.00			
							支出コスト	千円	決) 37,108	決見) 43,191				
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	① 市長・副市長の秘書業務 (経常的事務事業)		市長、副市長	市長、副市長が円滑に市政運営にあたることのできる環境を確保する。	体調良好で、市長・副市長が政策形成等に専念できる体制を作る。	市長、副市長のスケジュール管理、随時・運転、交際関係の調整、その他の秘書業務	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託	否	否	
							3.8	0	4,724	否	否			
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 市長、副市長の適正なスケジュール管理のマニュアル化				B	改善案	秘書職員の異動があっても市長・副市長の公務に支障をきたさないよう、恒日頃から情報を共有するように努める。秘書業務のマニュアルを作成する。					
② 市長会に関する事務 (経常的事務事業)		市長	市長会を通じた要望活動により、要望実現を図るとともに、必要な情報収集を行う	市政の課題について要望等により実現を図る	市長会を通じた国・県への要望事項のとりまとめ等	0.6	0	746	否	否				
細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 各市共通の課題を積極的に提出し、県・国に働きかけ要望をしていく				B	改善案	市長会への議題提出の意義を職員に周知する						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
	③	市長定例記者会見に関する事務 (経常的事務事業)					市長	市政情報の効果的な発信を図る	市長の考え方や市の施策、行事などを市民に広く周知する。	毎月の市長定例記者会見の発表事項の取りまとめ	正職員	臨時等
							0.6	0	746	否	否	
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 市長の市政に対する考え方、実施している内容などを周知し、市民ニーズを把握する。				細事業評価	B	改善案	マスコミへの周知内容の見直し (行事の発表だけに留まらず、市長の市政に対する考え方を発信していく)			
	④											
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他				細事業評価		改善案				

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	前年度までの指摘事項	指摘なし	指摘事項に対する改善状況	事務関係費、交際費等の予算のより一層の適正化に努めている
	市長任期も2期目に入り、第2次まちづくり総合計画に沿った事業が進められている。今後、公共施設の再配置や庁舎建設、駅ビルの整備など大きな施策も控えており、市長・副市長の職務は増加すると予想される。				
	細事業の課題・問題点	市長定例記者会見は市政情報、市長の市政に対する考え方を発信する方法として有効な手段であり、市長の思いがより一層市民に伝わるように十分活用していかなければならない。 市長の公務は多岐にわたるため、スケジュール管理を正確かつ効率的に行う必要がある。特にダブルブッキング、過密なスケジュール調整等がないように注意し、職員間の情報共有、連絡も密にする。	事業全体の課題・問題点	市長の言動やメッセージにおいては、市長の思いが正確かつ十分に伝わるように留意する。また施策や事業にしっかり取り組めるようなスケジュール管理と情報管理が求められる。	

所管課評価					
評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	市長、副市長の公務を無駄なく効率的に行うための体制を確保し、事務の効率化を図る。	改善案 交際費は有効かつ適正な支出に努める。また、市長、副市長が政策形成等に専念できるよう適正なスケジュール管理を行う。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B 市長・副市長の適切なスケジュール管理を行う。また、交際費については適正な支出に努める。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	900204
分野	9行政経営
基本施策	2将来を見据えた行政経営
推進施策	(4)その他

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
定例業務のため大幅な見直しによる予算削減に該当しない

備考